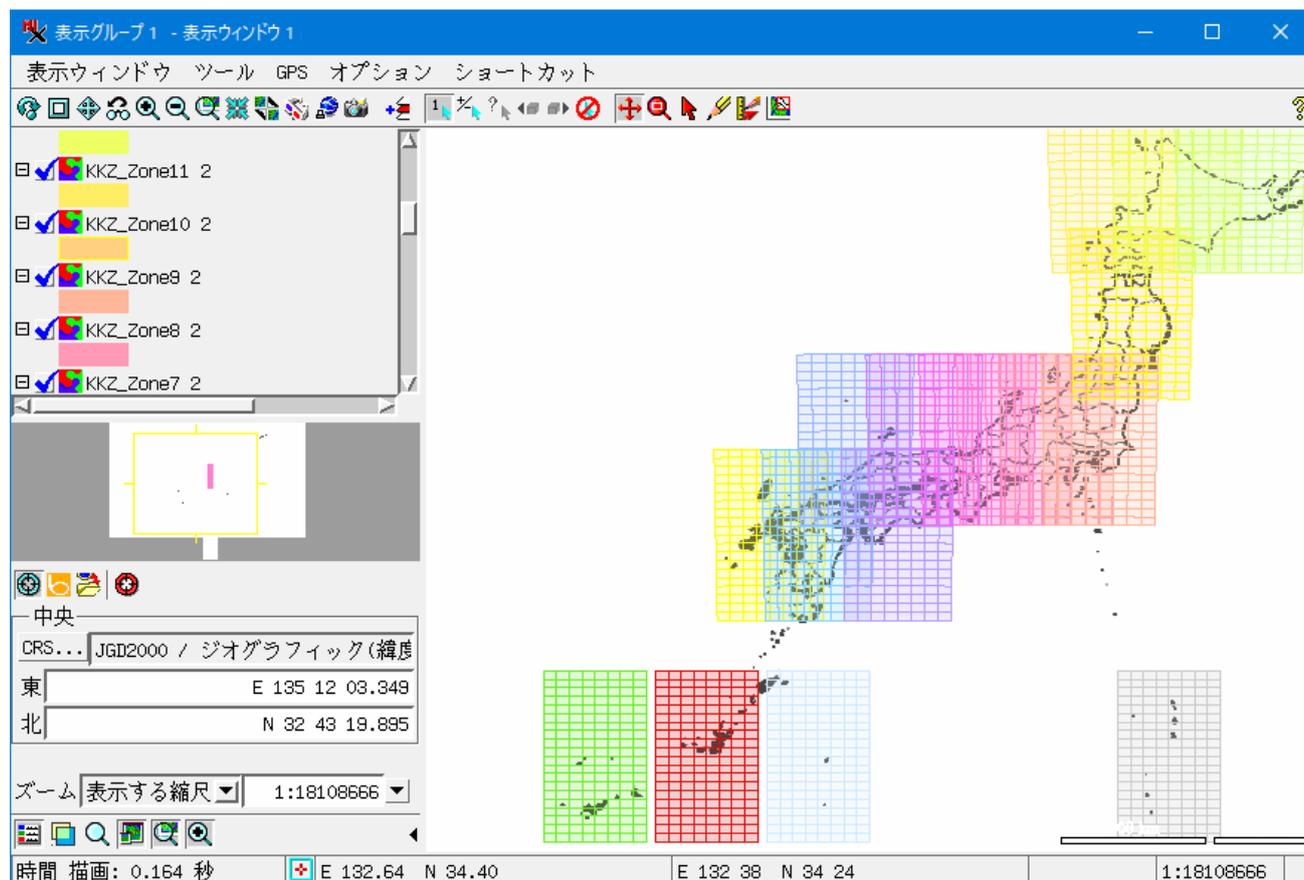


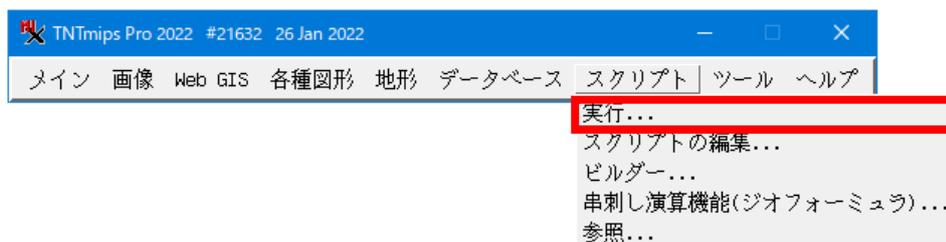
平面直角座標系 19 ゾーンレベル 50000 のメッシュ生成

SML の実行方法

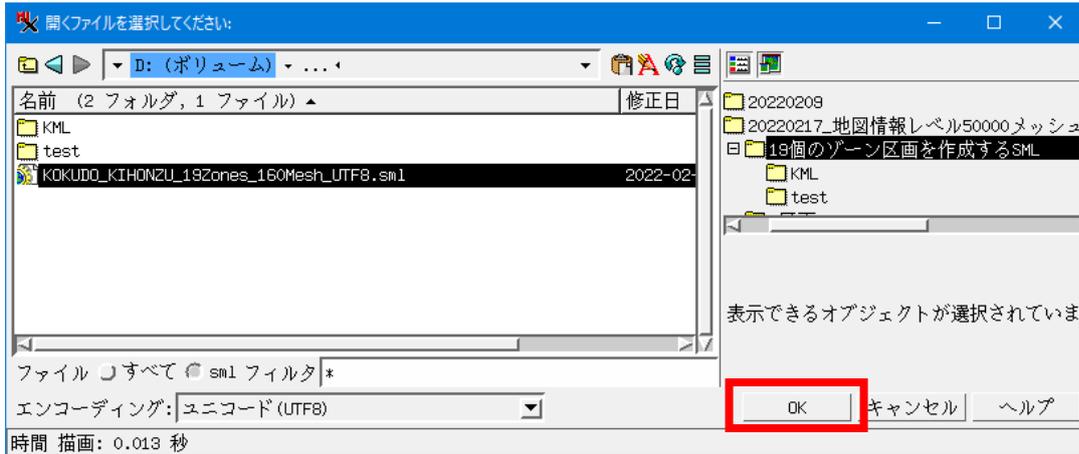
国土基本図 19 ゾーンの 50000 レベル図郭グリッドを生成します。平面直角座標系の 19 系のメッシュを一括作成します。



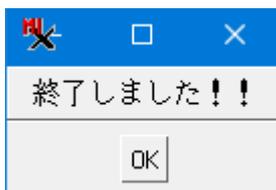
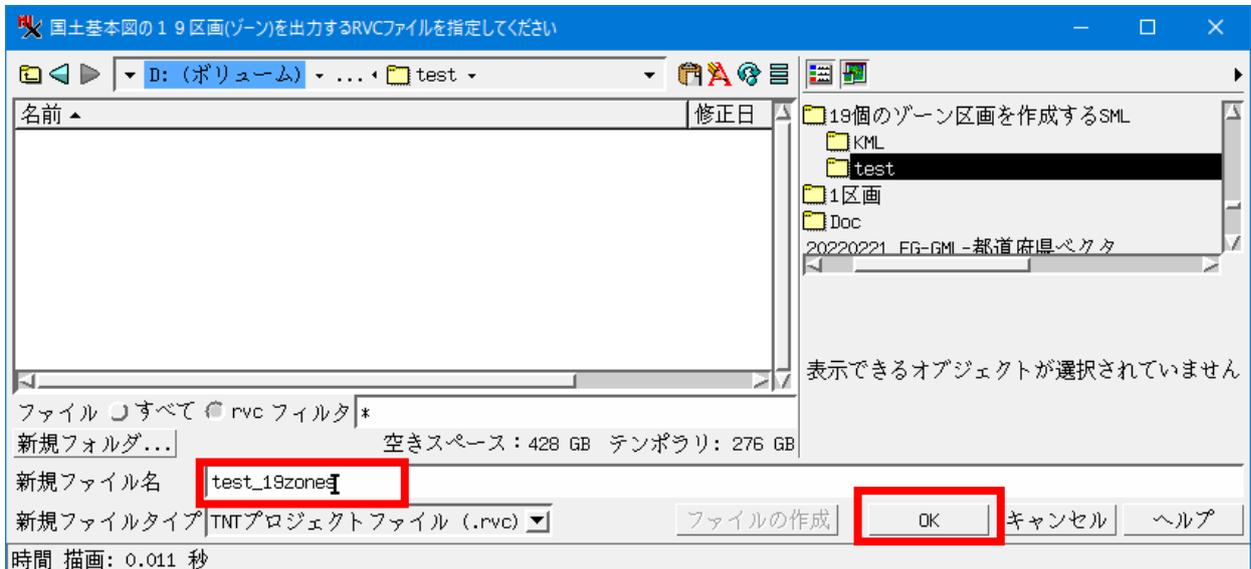
1. SML ファイル「KOKUDO_KIHONZU_19Zones_160Mesh_UTF8.sml」をダウンロードし適切な作業フォルダに保存します。
2. TNTmips Pro を起動します。[スクリプト]メニューの[実行]を選択します。



3. ダウンロードした SML ファイル「KOKUDO_KIHONZU_19Zones_160Mesh_UTF8.sml」を選択し、[OK]をクリックします。

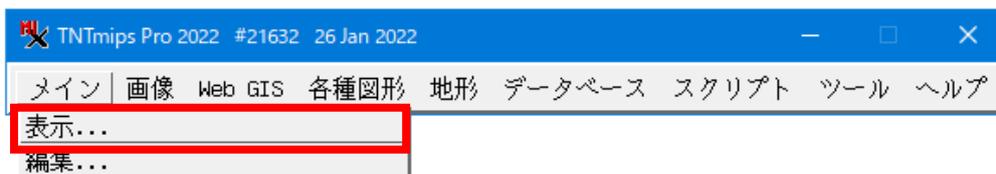


4. 保存先フォルダに移動し、新規ファイル名を入力し、[OK]をクリックします。

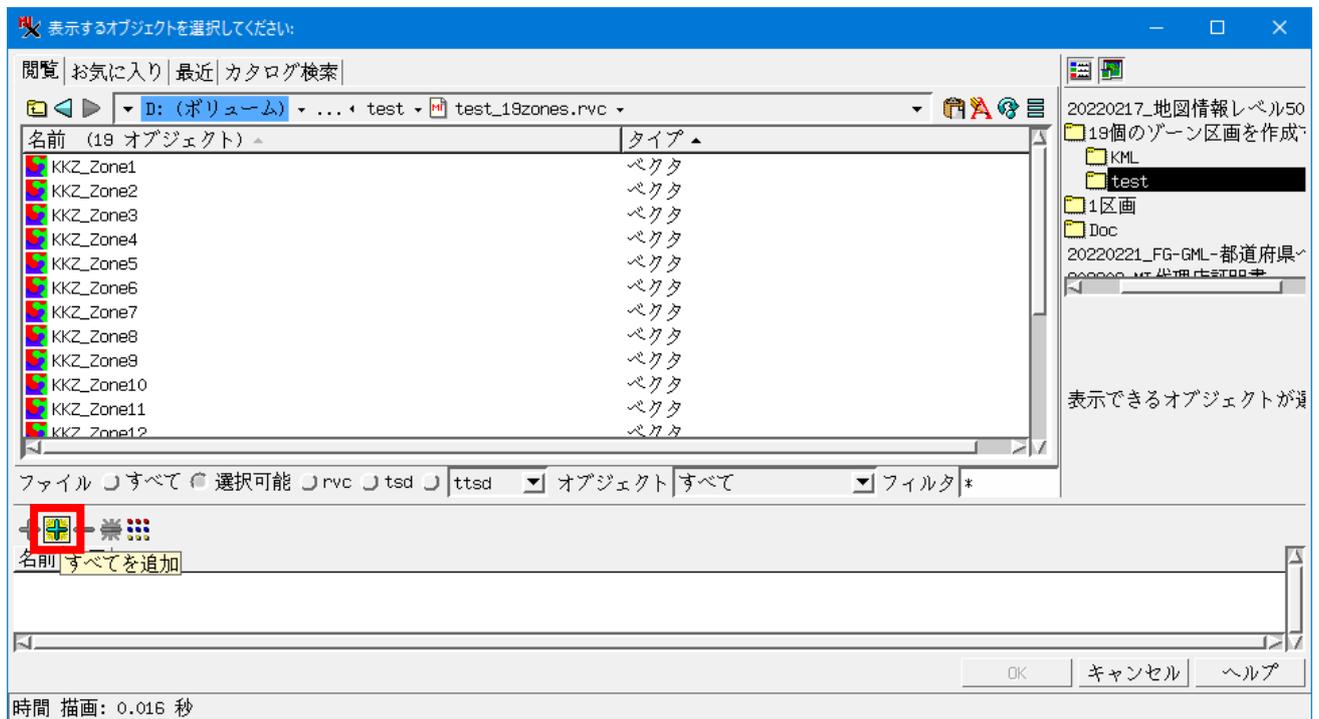
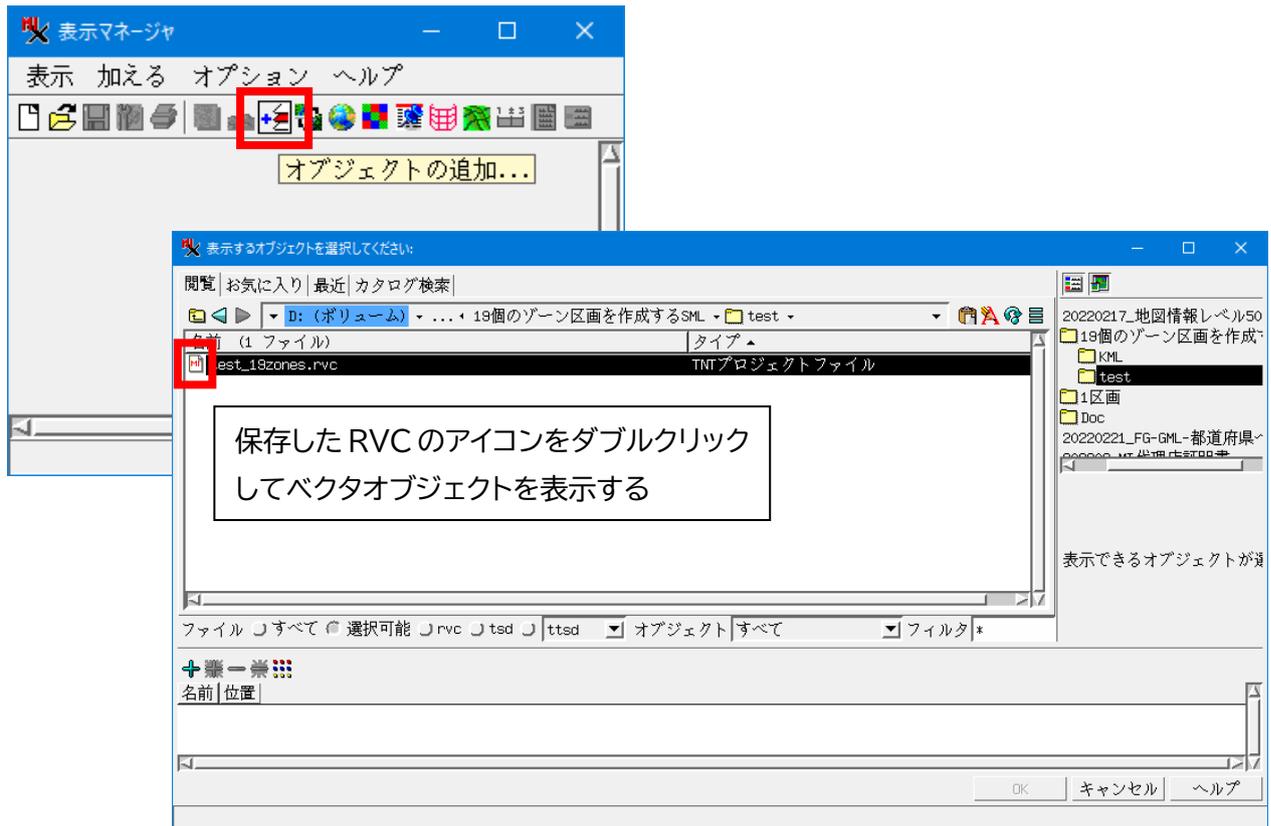


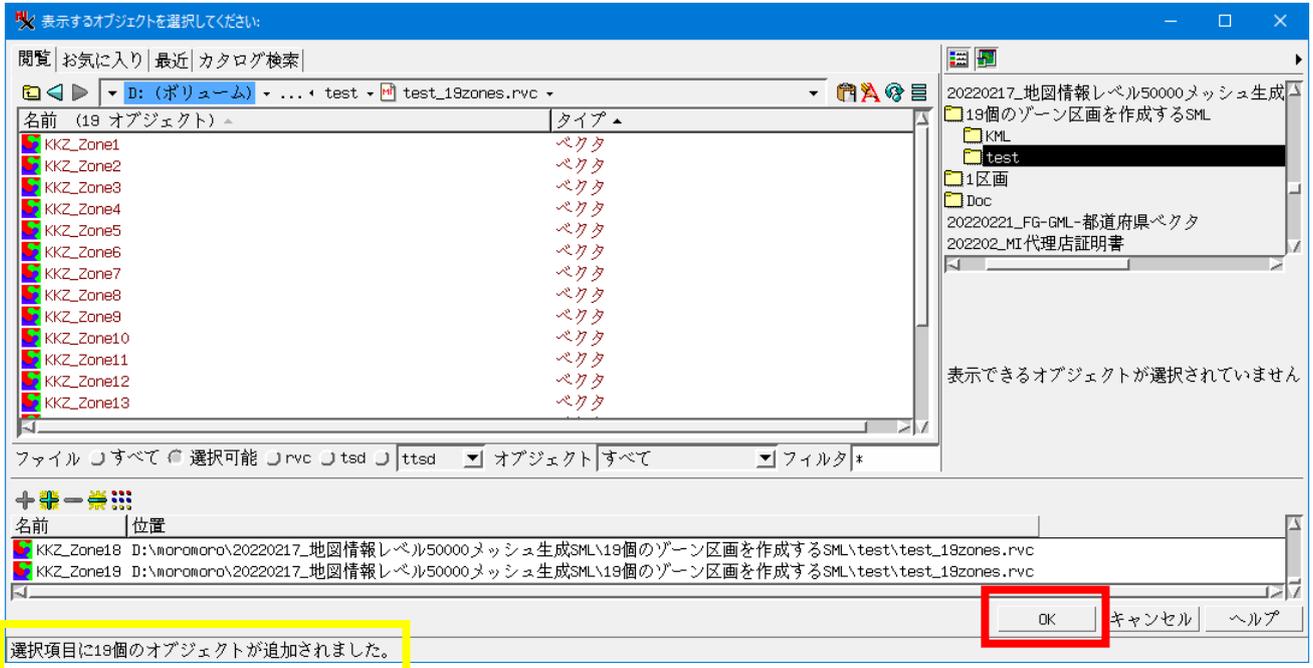
以上で SML の処理は終了です。

5. 保存したオブジェクトを表示してみます。[メイン]>[表示]から表示マネージャを開きます。

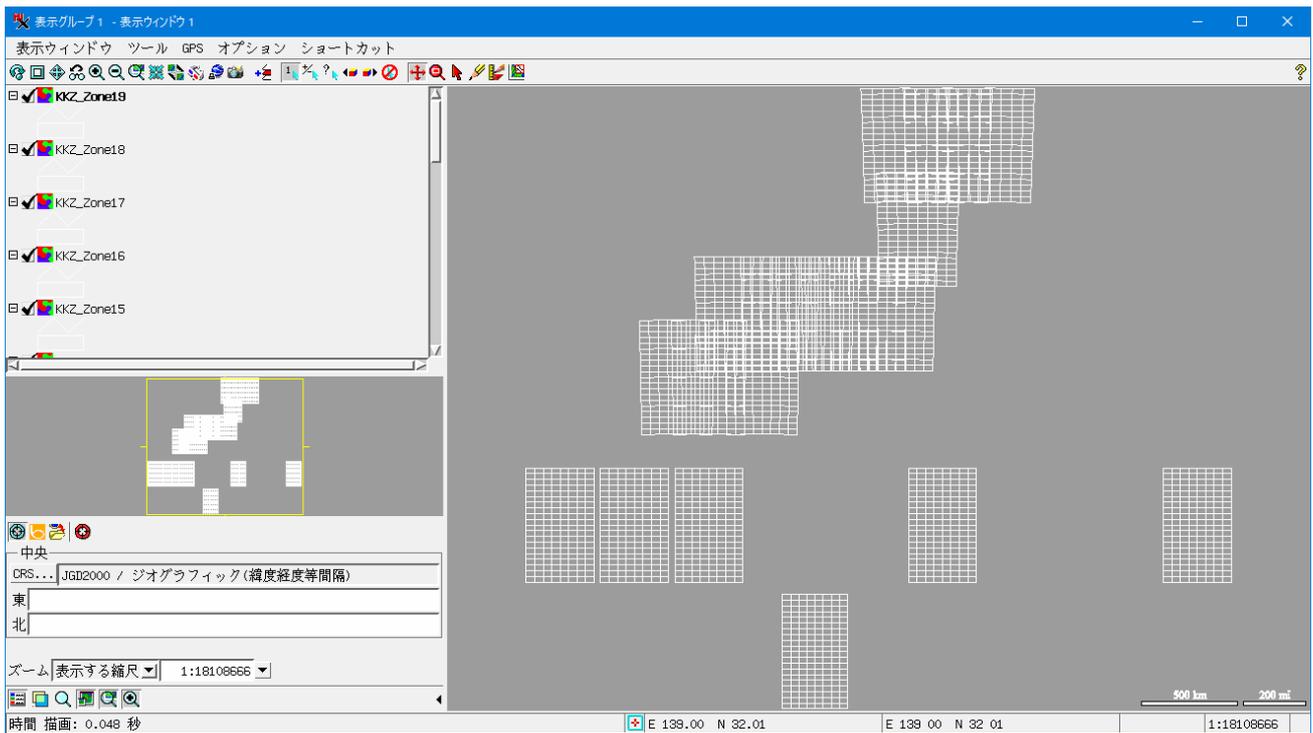


6. [オブジェクトの追加]から、保存したメッシュオブジェクトを開きます。

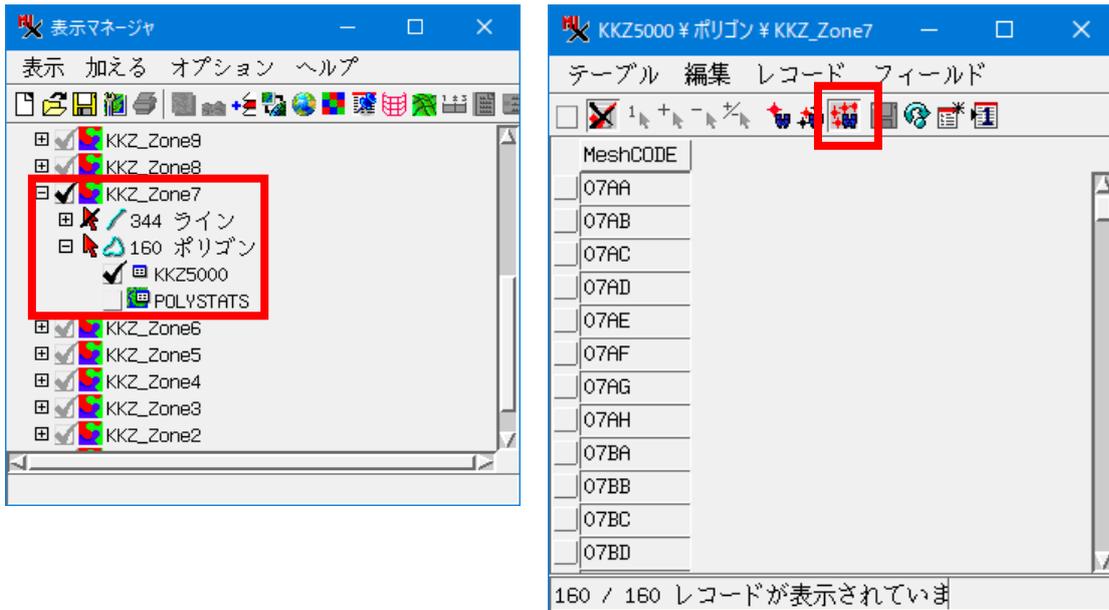




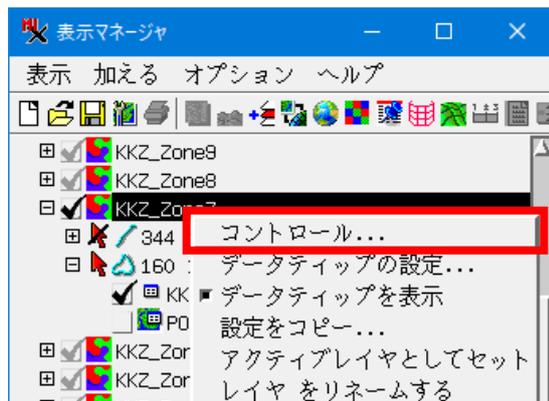
7. 19 個のゾーンのベクタオブジェクトを表示したところ。



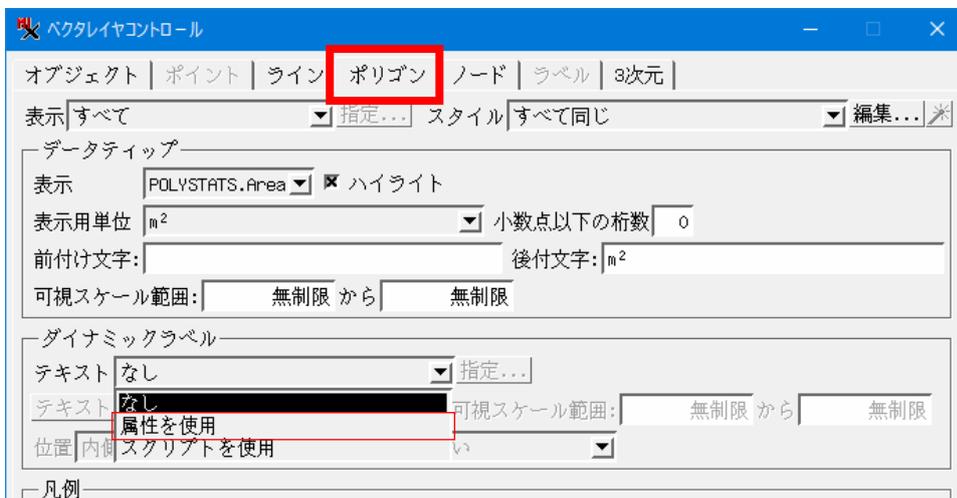
8. オブジェクトの1つのポリゴン図郭コードのテーブルを確認します。このテーブルのテキストをラベルとして図郭に表示させます。



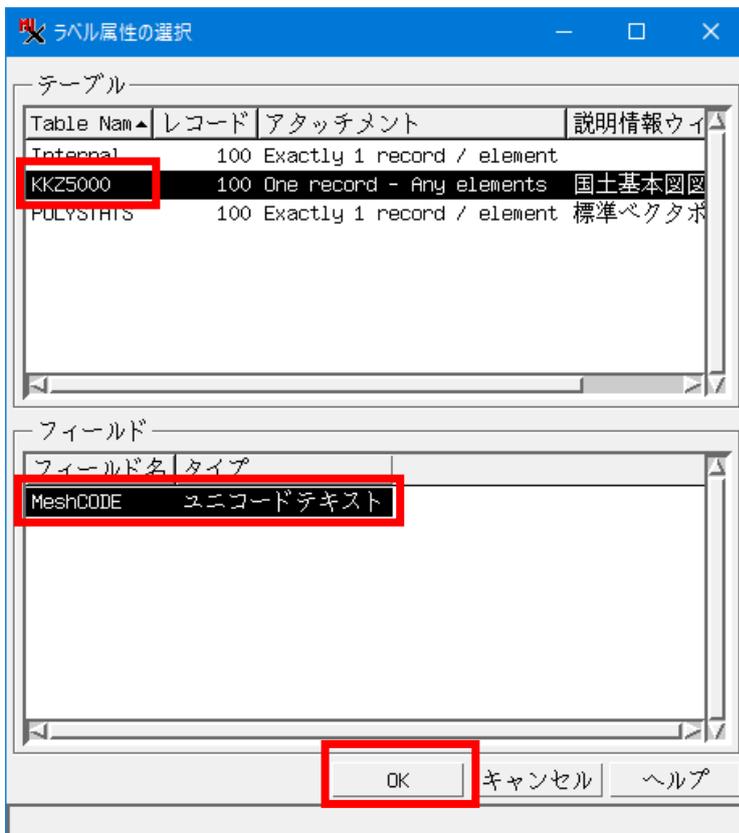
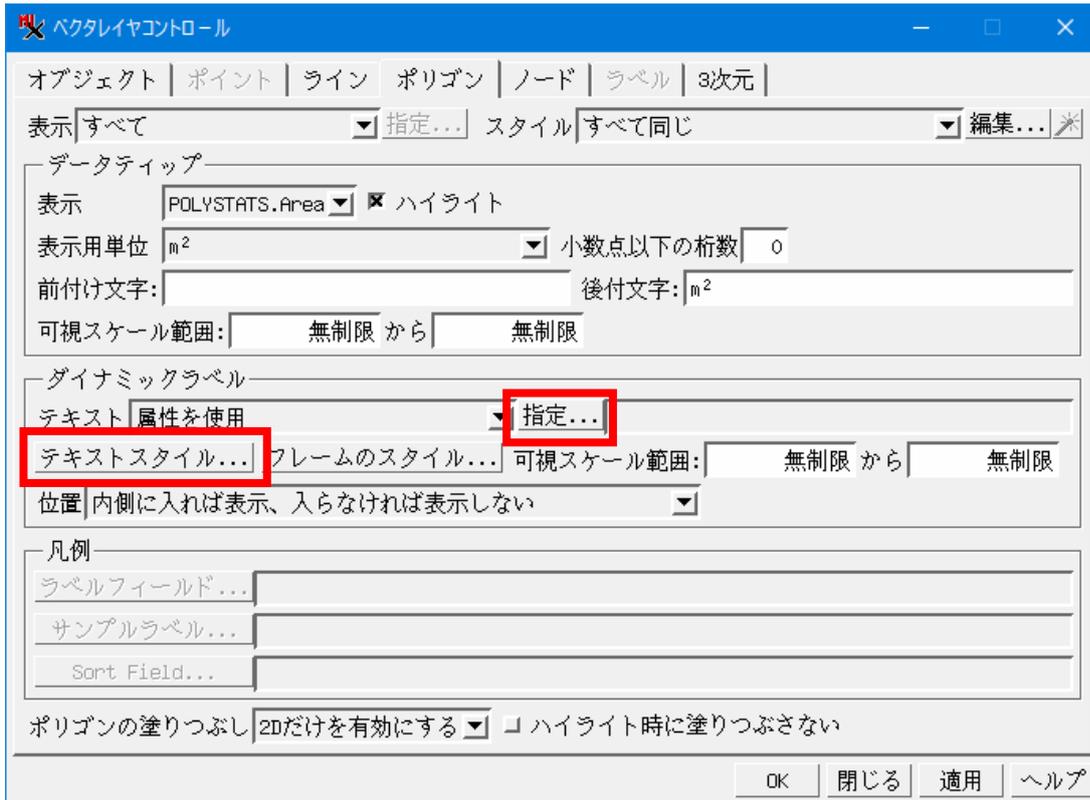
9. 表示マネージャからオブジェクトの1つを選択します。
オブジェクトの右クリックメニューより、[コントロール]を選択します。



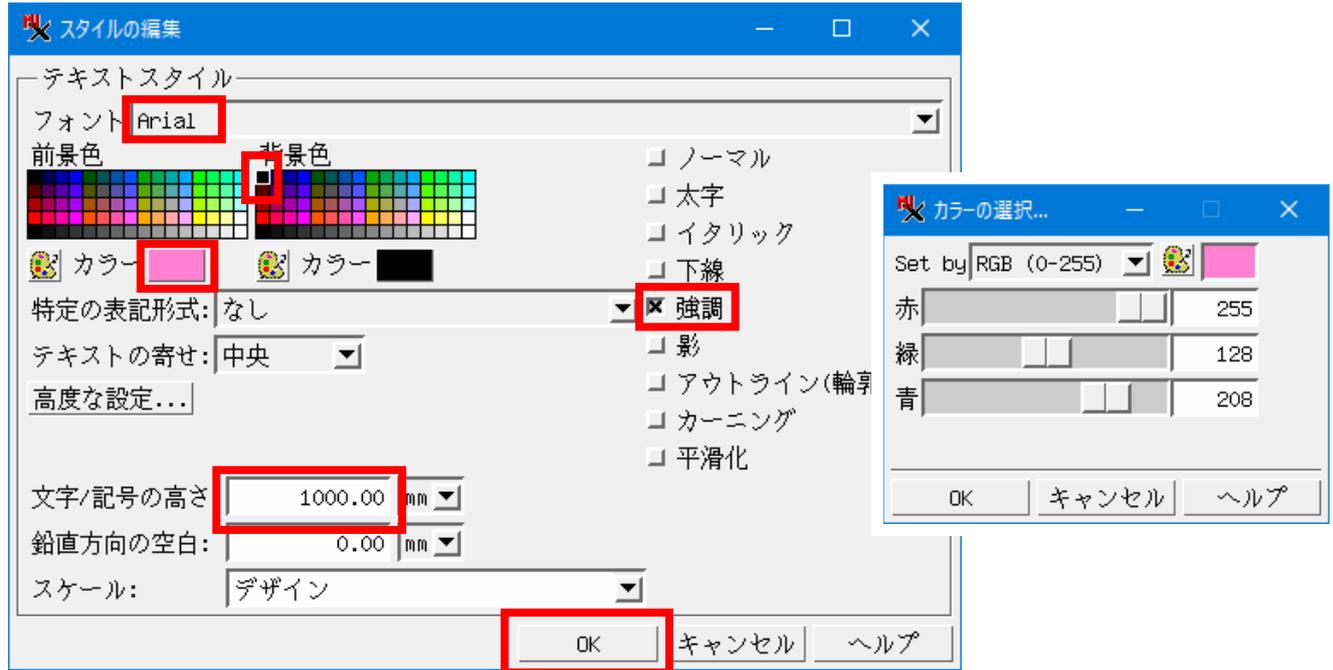
10. ポリゴンタブを開き、ダイナミックラベルのテキストを「属性を使用」に変更します。



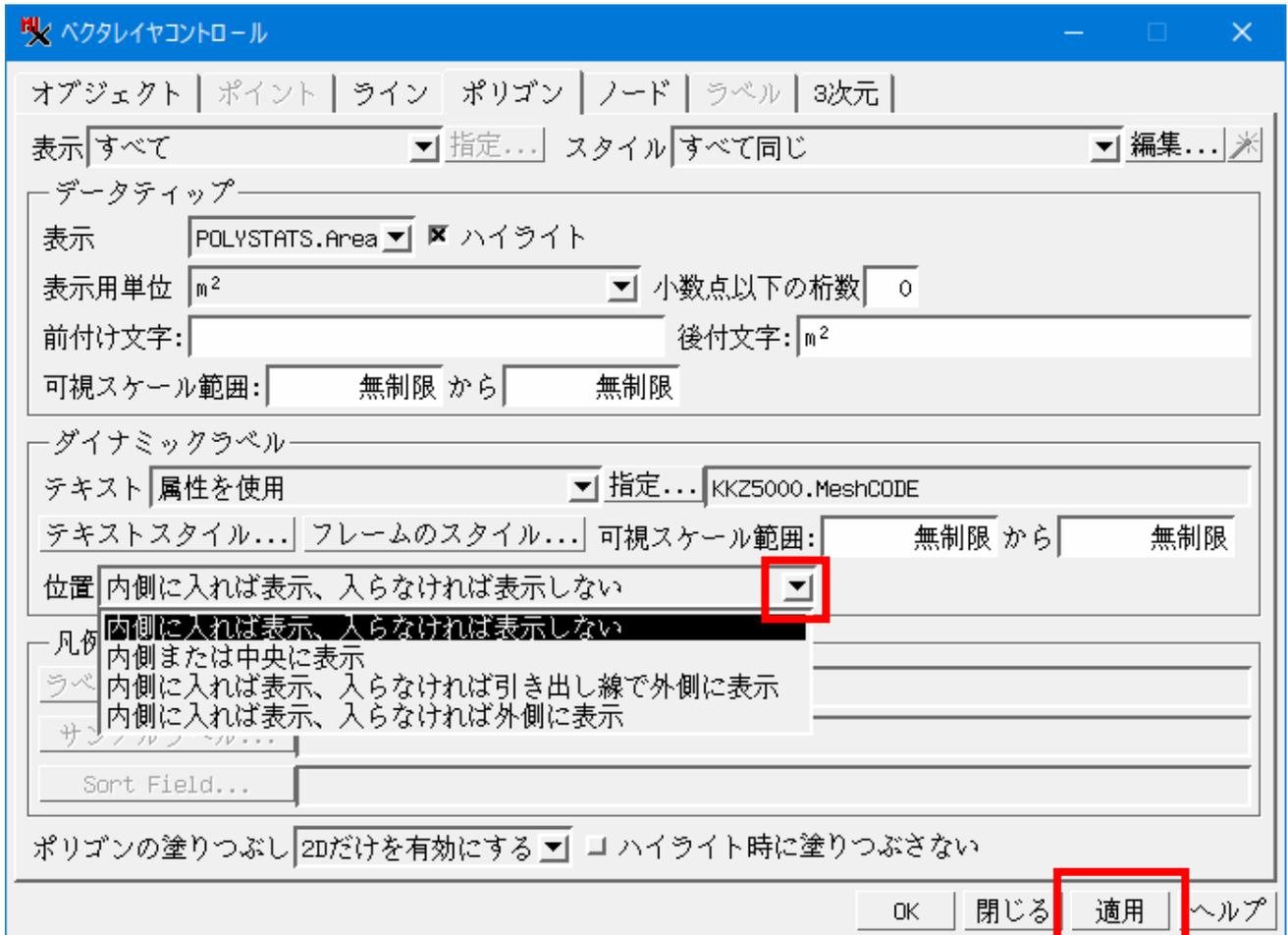
11. ダイナミックラベルの[指定]をクリックし、ラベル属性の選択画面で、図郭コードのテーブルとフィールドを選択し、[OK]をクリックします。



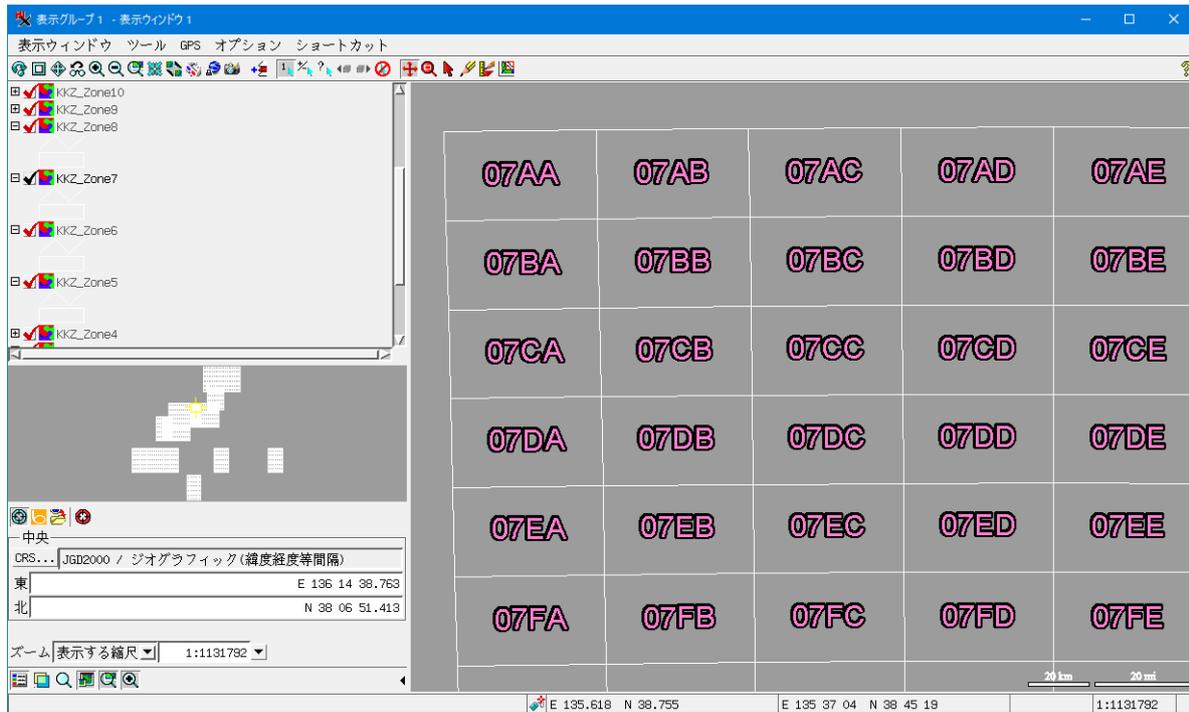
12.ポリゴンタブのダイナミックラベルの[テキストスタイル]をクリックし、スタイルの編集画面で、表示テキストのフォント、文字サイズ(高さ)や色を変更します。[OK]で戻ります。



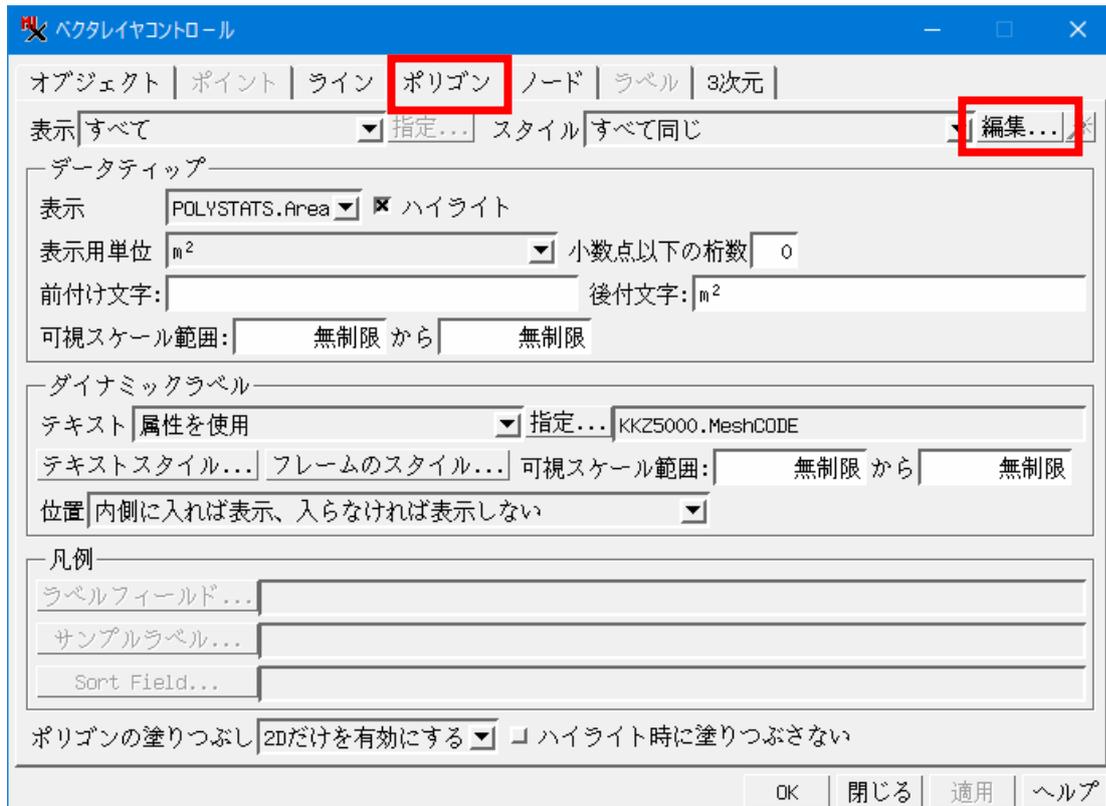
13.ダイナミックラベルの位置を指定し、[適用]をクリックします。



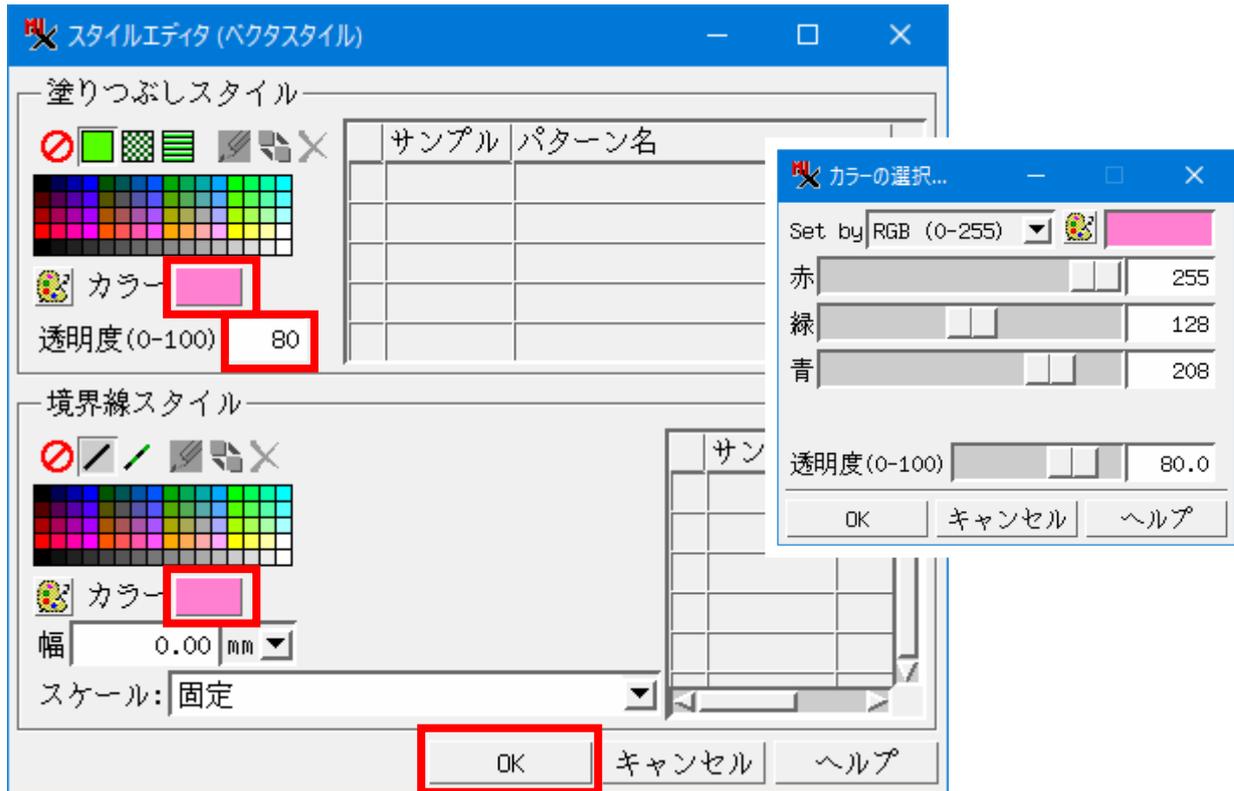
14. 図郭コードのラベルが入りました。



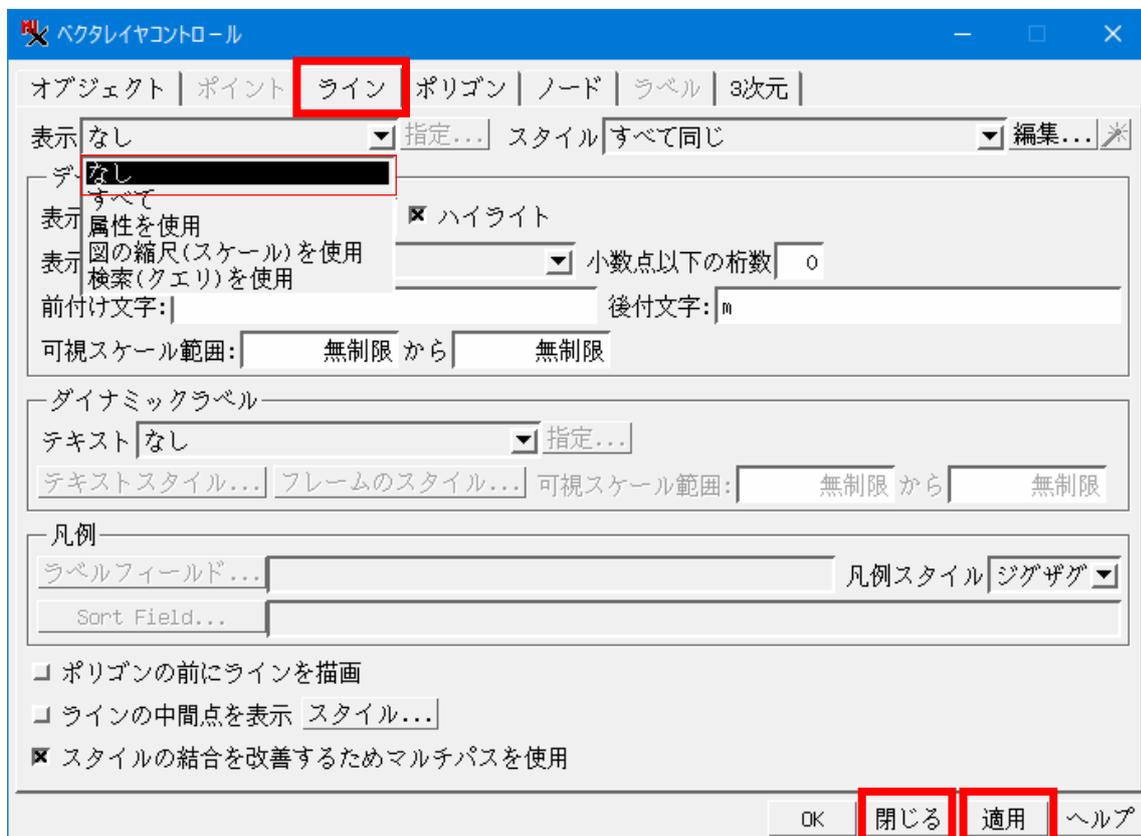
15. ポリゴンの色を変えてみます。ベクタレイヤコントロールのポリゴンタブを開き、「スタイル」の右の[編集]ボタンをクリックします。



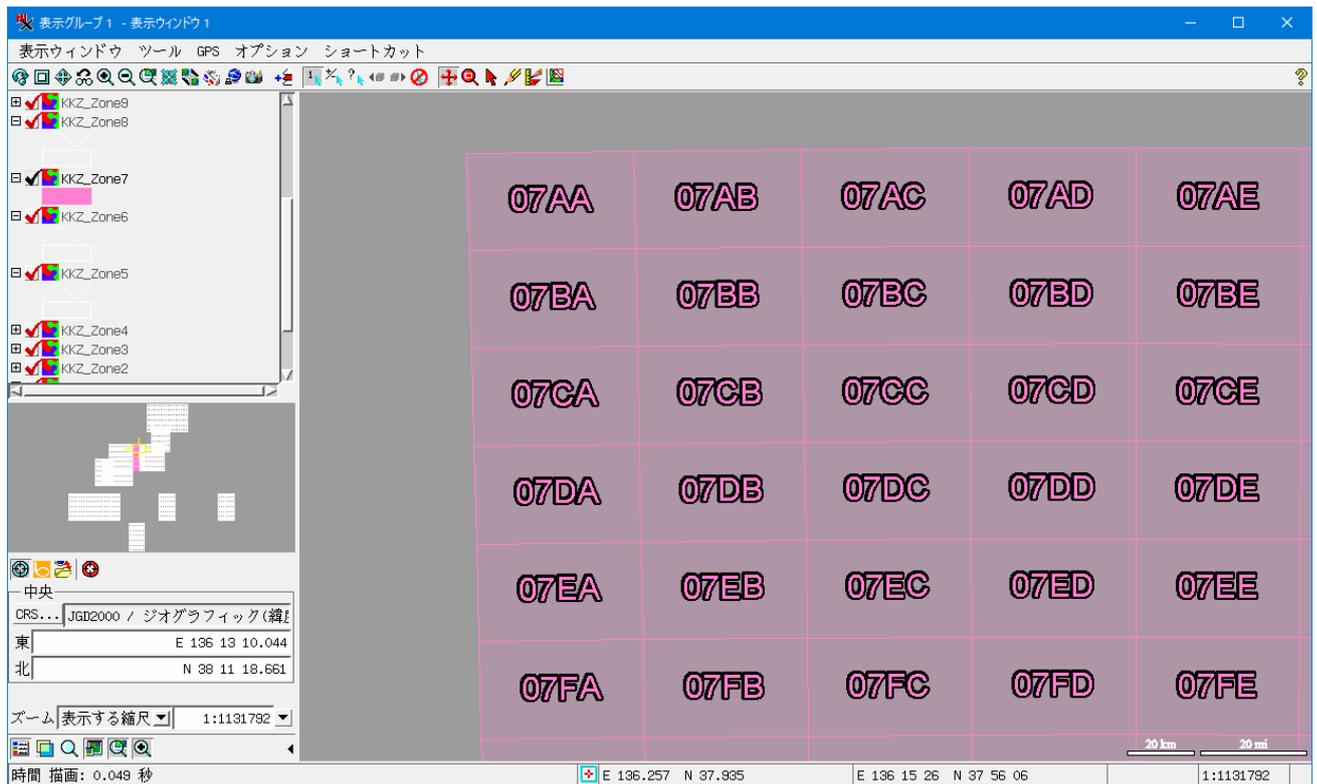
- 16.スタイルエディタ画面で、カラーと透明度を設定します。[OK]で戻ります。
ベクタレイヤコントロール画面下部の[適用]をクリックします。



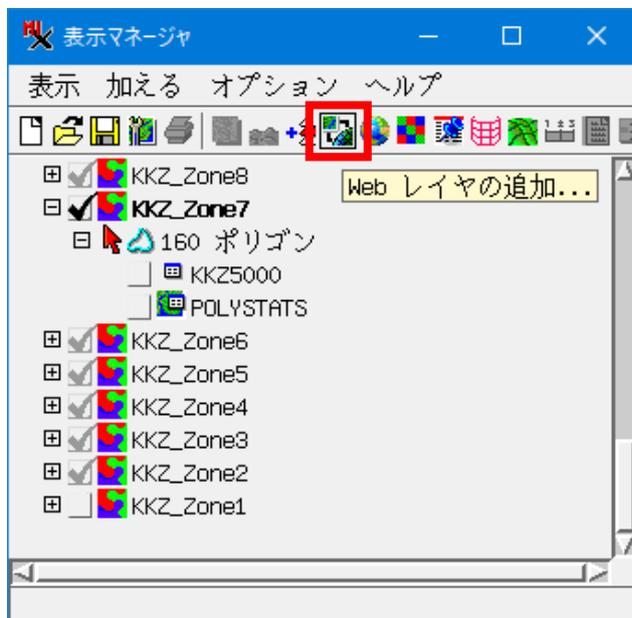
- 17.ベクタレイヤコントロールのラインタブを開き、「表示」を[なし]にします。
ベクタレイヤコントロール画面下部の[適用]をクリックし、[閉じる]で設定を終わります。

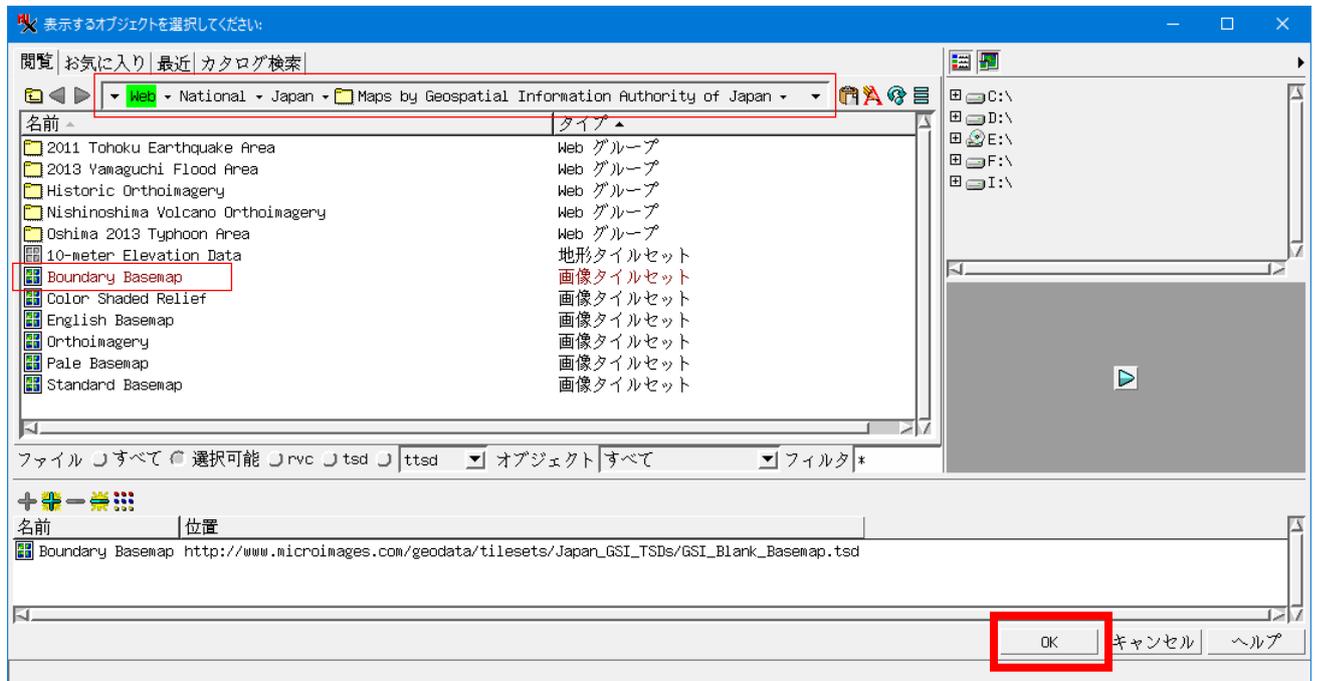


18.ポリゴンの色が変わりました。

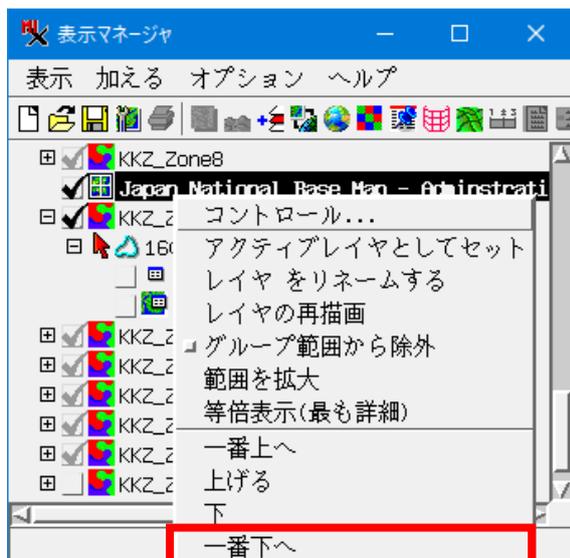


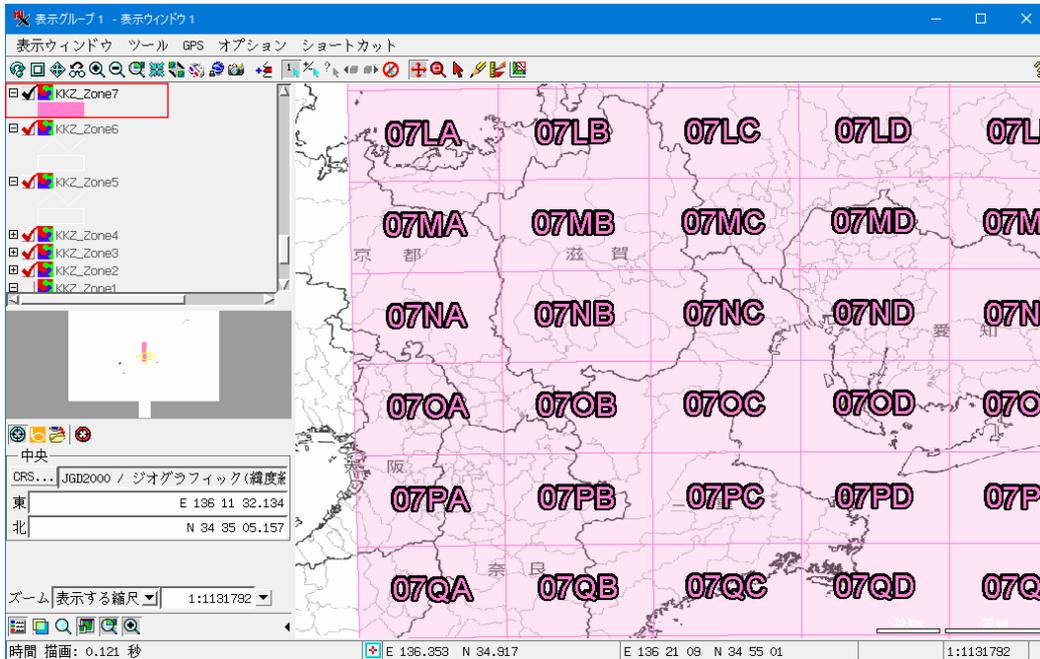
19.地理院地図を重ねてみます。表示マネージャの[Webレイヤの追加]アイコンをクリックします。
パスを変更して地理院地図を選択します。



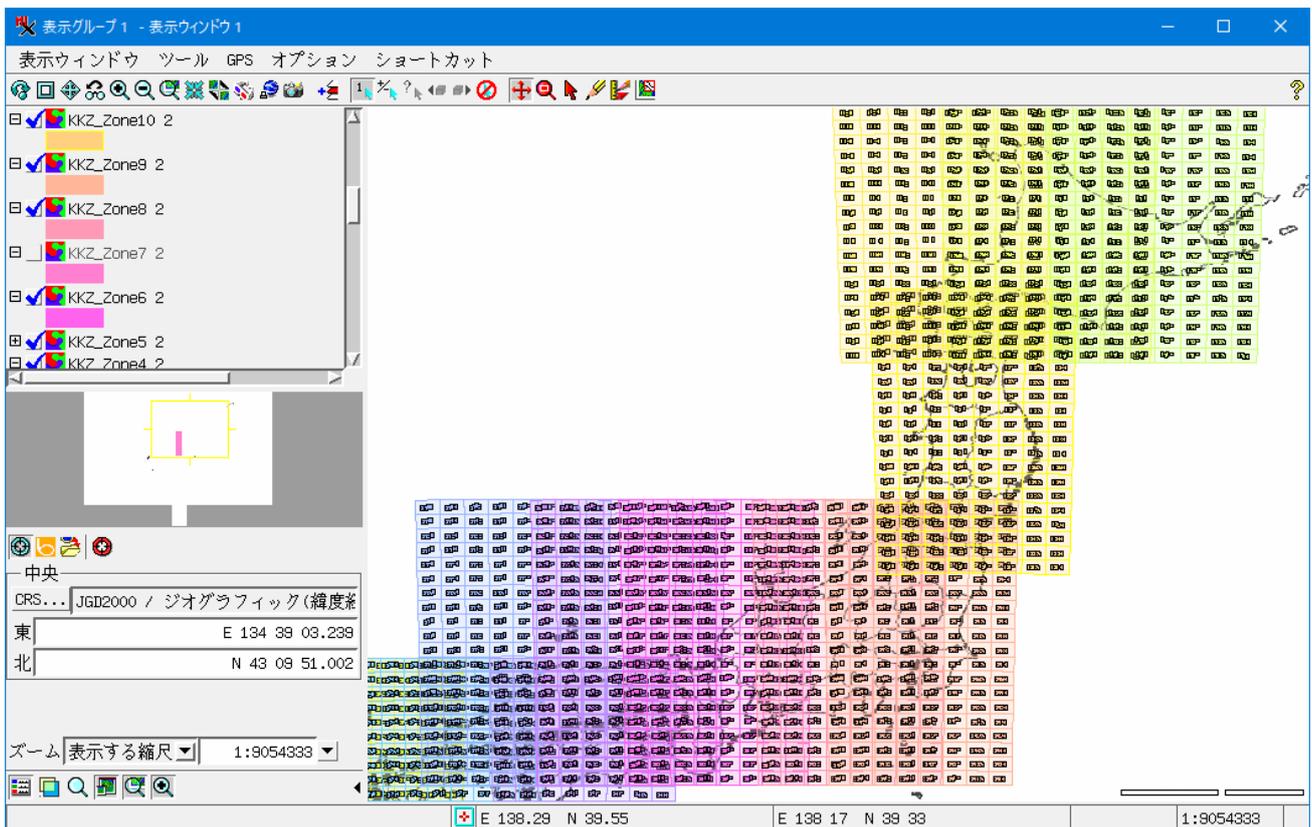


20.レイヤの重なり順を変更します。マネージャで地理院地図レイヤを一番下にします。





21.必要に応じて、残りのゾーンのオブジェクトに対して上記手順 9~17 を行います。



この SML スクリプトを修正して独自の処理をすることもできます。[スクリプト]メニューの[スクリプトの編集]からテキストの編集と実行ができます。

SML に関する解説は MicroImage 社サイトにある「[Writing Scripts with SML](#)」をご覧ください。

[OpenGIS](#)

2022.4.18